

9月の生活表

2021年 9月

聖マリア幼稚園

年主題：共に喜んで～すべての歩みの中で～

月主題：心かよわせて

・保育日数（20日）

月目標：

（3歳） ・遊びの中や礼拝の中で、神様が創られたいのちの面白さや素晴らしさに心をとめる。

・好きな遊びを気の合う友達と一緒にすることが楽しくなり、交わり（関わり）を喜ぶ
＜保＞友だちとの関わりが深まり、やりとりをする中で、喜び合ったりぶつかったりと、思いを伝えあう経験ができるように支える。

（4・5歳） ・聖書の中の神様の物語（ことば）を共に聴く。

・友だちと時と場を共有して遊び、楽しさにも難しさにも心をかよわせて過ごす。
・季節の移ろいの中、自然と触れ合い、その美しさやおもしろさや不思議さに心を動かしながら遊ぶ。

＜保＞一人ひとりの遊びや友達との関係をよくみて、子どもの気持ちを理解しながら支える。

43日間の夏休みを無事に終えて、元気な子どもたちの顔と出会い、それぞれに楽しく過ごしたであろうその姿に安堵しました。コロナの感染者数の急拡大により、全ての人が関わる全ての場所が感染地とも言えるほどに、用心に用心を重ねなければならなくなってきました。そんな中で当園においては一人の感染者も出さず、無事に夏を越えられたことを皆様に感謝しなければならないと思います。

やっと2学期が始まりました。お楽しみ会の「ゲーム大会」やDayCampで出来なかったことを少し体験して、本日（9/3）はとても楽しい、嬉しい時間を持つことができました。お土産いっぱいだね！

さて、皆様の夏休みはいかがでしたか？2学期の初日は、3つのお約束を思い出すところから始めました。毎年のことながら、全ての子どもたちの手が挙がるわけではなく、1つ？、いや、2つ？、なんだったけ？と頭を傾げる等様々でしたが、赤組から「早寝早起き」のこと。そして緑組から「お祈りすること」「お手伝いすること」が出てきました。早寝早起きは、日々の生活を律することであり、神様とのお話して、感謝やごめんなさいやお友達を想うことに至り、お手伝いをするすることで人の為に役に立つことをするという「愛」の行いに目覚めるという繋がりを得たのでした。一人ひとりの子どもたちの顔を見ながらみんな揃っての「お祈り」をして頂きました。この夏休みには、オリンピックを始め、本当に多くの話題がありました。それら個々のニュースの中で、私たちは何を感じ、考え、今何が起きているから自分の立場はどうなのかなど、それぞれの学年での家族の話し合いなど、幼ない子どもたちであってもそれなりに共有できる話題があり、理解できるように大人が下って説明をしてあげるといことは、常日頃から大切にしたいことのひとつですね。コロナ禍であるとはいえ、私たちの周りにはなんととっても「幸せ」なのでしょう。そのことを神様に感謝すると共に、それだけに様々な現状を把握してそれぞれの人に心を寄せ、褒め、励まして、感動して考えてみることは大切なのではないかと思います。自然環境で徐々に、季節の移ろいを感じることは少ないのかもしれませんが、確実に「秋」に向かっています。自然を愛で、命のサイクルに気づき、お互いを大切に思っていて楽しみ、喜び合っていて過ごせる2学期になればと願います。そして、新しい様々な経験を積むことで、心を体が養われます。それぞれに大きく飛躍できる充実期と言われるこの時を丁寧に過ごす事により、お友だちとの関係もより深く、暖かく、そこに自分自身の意見を安心して発信していくことができるようになるでしょう。お友だちへの新発見と自分磨きに心をとぎめかせて過ごしてみましよう。

《チャプレンコーナー》 9月 月間主題：心かよわせて

月聖句：私があなた方を愛した様にあなた方も違いに愛し合いなさい。

(ヨハネによる福音書 13：34)

「互いに愛し合いなさい。」イエス様の教えを一言で言うなら、これになるのだと思います。キリスト教は「愛」の宗教と言われます。何よりも大切な教えであり、倫理であり、実践が、「愛」です。

少し「愛」を整理してみましょう。古代ギリシャ哲学では、愛をいくつかに分析していました。まず「エロス」。これは「エロティック」という言葉にも表現されるように、欲望と結びついた愛です。「奪う愛」とも言えるでしょう。次に「フィリア」。これは、「友情」とも訳される言葉で、友達や、似たような立場の人々の間での思いやりや理解のことを言います。そして

「アガペー」。これは、自分のことよりも相手を大切にし、相手を生かす愛です。私達の身近な例では、親の子どもに対する愛が近いでしょう。「与える愛」と言えます。これこそが、聖書で用いられる「愛」であり、神様が私達人類を愛して下さる愛です。

イエス様が私たちに教えてくださる「愛」は、すべて「アガペー」の愛です。お互いを大切にし、相手から何かを奪うのではなく、自分の大切なものを用いて相手を生かそうとする愛です。そのような愛を互いに実践すれば、世界は平和になることでしょう。

イエス様はこのような「愛」を、言葉だけでなく、実践を通して私たちに教えてくださいました。愛は、実践するときに、最も伝わり、広がっていきます。子どもたちに愛を教えようと思ったら、まず大人が子ども愛し、また大人同士で互いに大切にし合うべきです。愛が交わされる所でこそ、子どもたちは大きく豊かに成長することでしょう。

おたんじょうび おめでとうございます

<生活指導>

☆ 2学期の始業にともない、規則正しい生活のリズムに戻しましょう。

- ・登園時間を一定に。（8時半～9時）朝の遊びを大切にしましょう。
- ・体調を整えましょう。早寝早起き、朝食、うがい、手洗い、入浴、シャンプー等の励行。
- ・コロナに伴う感染予防の徹底をしましょう

家庭内感染に気をつけましょう。（幼い子どもの無症状からの拡散に十分な注意を）

- ・2学期にはさまざまな行事を予定しています。緊急事態宣言が解除される事を願って進めたいと思います。子供達がしっかりそれに向き合えるように、みんなと一緒に準備をしていくという大切な経験を逃すことなく、良き経験を積んで頂けるように心の準備をしましょう。

☆ 秋の自然に興味関心（好奇心・探究心等）を持たせる機会を得、親子でそれに向き合ってみましょう。

- ・移り変わる自然：虫取り、虫の声、種取り、秋の花々、木の実、空の雲、気温の変化、山の色など小さな秋を見つけましょう。
- ・敬老の日を機会に祖父母の存在を知らせ、接する機会（ビデオ通話もOK）を持って楽しく遊び（お話し）、昔のお話も聞いてみましょう。
- ・いつも孫達のことを守り、祈って下さっている祖父母に対し、感謝の意を表しましょう。
- ・曾祖父母がご健在でしたら、その方の幼少期の遊びやお話を聞きましょう。
- ・またその家に伝わる大切な事柄など、命とともに繋がってきていることを確認し合い、また繋いで行かねばならないことを、幼い子ども達にも知らせる機会を持ってみましょう。

☆ ご近所との繋がりも大切にしましょう。

- ・顔見知りのご近所の方々にもご挨拶をしましょう。『〇〇に住んでられる〇〇さん』であることも知らせましょう。

<クラス便り：各担任より>

<花組>

夏の終わりは何とも寂しく感じます。子どもたちにとって今年の夏休みはどんな日々だったのでしょうか。2020+1待ちに待ったオリンピックにパラリンピック！そして、4回目の緊急事態宣言の発令...いつの日か、きっと振り返る『夏』であったのではないのでしょうか。

幼稚園では、お盆休みを除き【夏の幼稚園】で毎日元気な子どもたちの姿がはじけていまし

た。夏を目前にプールを断念された園もある中、マリアは様々な対策を凝らして雨の日以外毎日プール遊びを楽しみました。水って本当に不思議です。子どもも大人も無心に遊び・笑い、時間を忘れる程に。沢山の我慢や大変さも、子どもたちの笑顔があるならば、その笑顔を守る為に、何をすべきか・何が大切か...を考えさせられる『夏』でもありました。無事に2学期を迎える事が出来た事を神様に感謝したいと思います。

さあ！2学期です！コロナ禍にあっても、季節はしっかりと移ろいゆきます。行事が目白押しの2学期です！花組さんにとっては、初めての連続です。花組さんはこの2学期に2名の小花ちゃんを新たにお迎えするという嬉しいこともあります。小さなクラスの中に縦の交わりが生まれ、その関係から一人一人の子どもたちがどんな成長を見せてくれるのか。楽しみでなりません。一人一人の子どもたちのそれぞれの思いや行いを大切に。花組というクラス（集団）で、みんなで取り組む行事の中での一人一人の子どもたちの姿をこぼさずしっかり捉え、そして、全クラスが行事に向かう時、花組さんはどの様な思いで、どんな事を感じるのか。一人一人の子どもたちとしっかりと「心をかよわせて」子どもたちに寄り添いながら必要な援助を吟味しながら過ごしてゆきたいと考えています。

2学期もご家庭としっかりと連携させていただき、「心かよわせて」子どもたちを守り導いてゆきたいと思います。ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

<赤組>

「おはようございます！」と元気に挨拶している子もいれば、久しぶりの幼稚園にちょっぴり緊張した面持ちで登園してきた子もいた2学期始業式。でもお友達の顔を見つけると、すぐにいつもの笑顔になり、楽しい幼稚園に戻りました。特に女の子達は「ひさしぶりやん」「元気やった？」お友達と手をつなぎ合い、顔を見合わせてうふふと笑い合い、もうお喋りが止まりませんでした。

幼稚園でした3つのお約束を覚えて、夏休みを楽しく過ごせたでしょうか？楽しかったこと、嬉しかったこと、頑張ったこと、悲しかったことなど、とてもじゃないけれど初日の午前保育の間にみんなのことを聞くことはできませんでした。それでも「聞いて聞いて」「こんなことあった！」「こんなんしたよ」と言葉で教えてくれました。もちろん言葉ではなかなか上手に表せない子もいるかもしれません。それぞれの表現で楽しかった夏休みを振り返り、夏休みでの経験や育まれた気持ちを糧にいろんなことに挑戦し、自分の気持ちをいろんな形で表現していく2学期にしていきたいと思います。初日は2人のお休みのお友達があった赤組さん。ある女の子が、そんなお友達のために「お祈りしようっと」と帰っていきました。夏休みが終わっても、お友達のためにお祈りしたいという優しい気持ちのあることを嬉しく思ったのでした。

さあ楽しいこといっぱい2学期、みんなで力を合わせることも増えます。大好きなお友達と一緒に今しかできない経験をたくさんしていきたいと思います。

<緑組>

緊急事態宣言下での2学期スタート。子ども達にも蔓延が...と危惧される中、幼稚園に子ども

たちの元気な声が戻ってきました！なんだかホッとして...なんだかうれしい気持ちになりました。今夏、予定通りならば緑組のDAY CAMPのはずが、やむを得ず延期となってしまいました。

（あくまで延期ですよ！なんとしてでも、「緑組だけの特別の日」を、今後の動向を見ながら実施します。夏には夏の楽しみ方があるように、秋になれば秋の夜長を楽しむこともできるのでは??と模索、検討中です!）ご家庭でも夏休みの過ごし方を苦慮されたのではないのでしょうか？子どもたちからは、お家の方と工夫して「楽しい夏」を経験させてもらった様子を聞かせてもらっています。プールで沢山遊び泳げるようになった子、猛暑の中縄跳びの練習に励んだ子、お箸の練習を頑張っている子、文字や数字を練習し始めている子...など各々が目標をもって取り組んでいる姿が見えてきました。そして、①お祈りしましょう②お手伝いしましょう③早寝早起きしましょう...という幼稚園での3つの約束を心に留めて、家族の誕生日にまたワクチン接種するお母さんのためにお祈りしていたことなどの報告も聞きました。夏休みという特別の時間に経験した多くのことが、これまで興味がなかったことに目を輝かせ、好きなことに没頭し新たな発見を喜ぶことに繋がっていく2学期。そしてその「学び」を支える「生活」の自律。この2学期は、就学へと向かって集団として刺激しあい、模索した時に葛藤しながら「学び」、そして「自律」へと向かっていきたいと考えています。例えば...お箸の練習！道具の使い分けをできるように。文字の練習...読み書きに関心を持てるように。整理整頓、時制の理解、年齢に応じた言葉の表現（語彙の獲得）...いろいろ沢山ありますが。これを机に向かって「勉強」しないのが幼稚園！ご家庭と協力しながら、各々の成長に寄り添いながら獲得していきたいと思います。どうぞ今学期もよろしくお願い致します。